



様式第8号

研修等報告書

令和 4年 2月 24日

笠岡市議会議長 殿

(出張者) 議員 坂本 亮平  議員 
 議員  議員 
 議員  議員 

下記のとおり研修等を実施したのでその結果を報告します。

記

【1】

住 所	岡山県笠岡市笠岡 (WEB上)
電 話	03-5846-9841
案 件	コロナにも人口減少にも負けない好循環のまちづくりー海士町ー
期 日	令和 4年 2月 22日 (火) 19時から 20時30分まで
応 対 者	有限会社イーズ 担当者: 久米
状 況	別紙資料の通り
訪問施設	WEB
概 要	<p>講演者 島根県海士町 株式会社風と土と 代表取締役 阿部 裕志 氏</p> <p>人口減少市町村合併時に文化の違う島通して一緒にならず、単独町運営を選ぶ。</p> <p>学生減により高校も廃校の危機を迎えるが学校が無くなることは次世代が居なくなることであり地域の衰退を意味するとして島留学という形で存続させたところ、倍率2倍の学校となった。</p> <p>町長がリーダーシップをとり地域資源を活かしたしごとづくり、教育の魅力化を推進していく。島だからできないでなく、島だからできる教育へ、人の流れを変える仕組みを作る。</p> <p>また副業を可能にする半官半X政策を実践し、様々な分野をホールディングス化してAMAホールディングス株式会社を立ち上げ代表取締役を町長が担い、市職員もそこに携わり町の</p>

	<p>発展に対して官だけではできない町運営をおこなっている。</p> <p>移住者と地元住民、官と民で対立するのではなくお互いの強みを活かした持続可能なまちづくりのためには、リーダーの資質と地域の再発見と既存の磨き上げが必要であると改めて感じた講座であった。今後の提言や質問の参考としていきたい。</p>		
添付書類	研修等資料	研修等状況写真	名刺



海士町の生き様・心意気

①「ありません」
便利なものではなくてよい
ないことを積極的に受け入れる

②すべて「あります」
人が生きていくために
大切なものはすべてここにある

③ないなら「つくる」
みんなで築く道程にこそ
意味がある（思いづくり）

海士町

株式会社海士町を実現！ AMAホールディングス(株)

第二の役場
攻めの機能

AMA
ホールディングス
株式会社
AMAHoldings Co., Ltd.

代表取締役 大江和彦 海士町長 半官半民	事務局長 拾谷登 海士町交際関係部長 外貨獲得	事務局 岡部有美子 コミュニティ・エンゲージメント
取締役 大野圭祐 島前高校野球部副部長 島の営業部	取締役 青山敬士 株式会社代表取締役 島の投資部	取締役 阿部裕志 株式会社代表取締役 島の広報部

設立 2018年
資本金 3000万円
株主 海士町100%
役員 取締役4名
従業員 フルタイム1名、業務委託2名
事務局 海士町役場3名

持続可能な「地域づくり」

- ・「風の人」と「土の人」でつくる
移住者と地元、都会と田舎、企業と地域、etc...
- ・「手綱」は土の人が握る
よそ者を巻き込む秘訣は、ビジョンと余白
- ・地域で暮らす「誇り」を高める
何を守るために、何を变えるのか？
- ・「世代」を超えていく
立春式「私の将来の夢は、今の海士町の大人たち」

資金調達 海士町ふるさと納税

0.4億円 (2019年) → 1.2億円 (2020年) → 2.2億円 (2021年)

事業投資 海士町未来共創基金

魅力的で持続可能な島の未来のために
人づくりと仕事づくりの好循環をつくる

2000万円 (2021年度)
4000万円 (2022年度)

WEB 画面の抜粋